

| 授業科目 | *初年次セミナーⅡ | | | | 実務家教員担当科目 | - | |
|------------------|--|----------|----|------|---|------|----|
| 単位 | 1. | 履修 | 必修 | 開講年次 | 1 | 開講時期 | 後期 |
| 担当教員 | 木村 茂喜 | | | | | | |
| 授業概要 | <p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナーⅠおよびⅡで構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。</p> <p>初年次セミナーⅡでは、初年次セミナーⅠの学びを基礎として、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズ『発表する』『討論する』を強化し、より一層、主体的かつ能動的学習を展開する。『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化ならびに定着を図り、さらにプレゼンテーションに発展させる。また、グループ内での討論を通して、物事を多面的・多角的に捉えて思考する力を身につけ、それらの考えを相手に伝える力を身につける。</p> <p>※第3回～第14回は学生を5つのグループ（前期の初年次セミナーⅠと共通）に分け、1人の教員が6回ずつ、合計2名の教員が担当する。また、第3回～第8回、第9回～第14回の授業計画はあくまで例であり、テーマ・講義内容、授業の運営方法、学習課題は各担当教員によって異なる。詳細については、第2回で各担当教員より説明する。</p> | | | | | | |
| 授業形態 | 合同講義(第1回・第2回・第15回) 各担当教員による演習(第3回～第14回) | | | 授業方法 | PBL(課題解決型学習)、ディスカッション、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | | | | | | | |
| 標準的レベル | <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』をさらに鍛錬・強化し、『発表する』『討論する』に展開できる。(DP1-1) ・グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1) ・他者の考えと自分の考えを比較し、物事を多面的、多角的に捉えることができる。(DP3-1) ・グループ学習において、自らの役割を自覚し、責任をもって協同行動ができる。(DP3-1) ・自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1) ・学習成果を相手に分かりやすく伝えることができる。(DP5-1) | | | | | | |
| 理想的レベル | 「標準的なレベル」に加えて、 主体的に課題を探求し、積極的に提案・行動する姿勢をとることができる。(DP4-1) | | | | | | |
| 評価方法・評価割合 | | | | | | | |
| 評価方法 | | 評価割合(数値) | | | 備考 | | |
| 試験 | | | | | | | |
| 小テスト | | | | | | | |
| レポート | | 10% | | | | | |
| 発表(口頭、プレゼンテーション) | | 45% | | | | | |
| レポート外の提出物 | | 25% | | | | | |
| その他 | | 20% | | | 授業中の発言など、授業に積極的に参加する姿勢により評価する。 | | |

| カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----------------|----------|
| DP1 | ○ | DP2 | - | DP3 | ○ | DP4 | ○ | DP5 | ○ | ナンバリング | WE10202J |
| 学習課題 (予習・復習) | | | | | | | | | | 1回の学習目安 (時間) | |
| 担当教員より適宜指示する。 | | | | | | | | | | 1 | |
| 授業計画 | | | | | | | | | | | |
| 第1回 | テーマ：初年次セミナーI から初年次セミナーII に向けて (木村政伸) | | | | | | | | | | |
| 第2回 | テーマ：ガイダンス、研究倫理について (福祉学科担当全教員・研究倫理委員) 初年次セミナーII の進め方について、各担当教員が説明し、研究倫理委員より、文献・資料の正しい引用の仕方、個人情報の保護など、研究倫理について説明する。 | | | | | | | | | | |
| 第3回 | テーマ：大学生にとっての読書 (担当教員1) 学習や研究の基礎となる読書の意味と具体的な方法について学ぶ。 | | | | | | | | | | |
| 第4回 | テーマ：読書力を確認してみよう (担当教員1) RST を実施し、その結果をもとに、読み方の癖や問題点の解決法を探る。 | | | | | | | | | | |
| 第5回 | テーマ：読書に親しむ・映像作品になった本たち (担当教員1) 映像化された本をきっかけに読書に親しむ方法を探る。 | | | | | | | | | | |
| 第6回 | テーマ：プレゼンテーションの準備 (担当教員1) プレゼンテーションの実践に向けた準備を行う。目的・内容・方法を学ぶ。 | | | | | | | | | | |
| 第7回 | テーマ：プレゼンテーションの実践(1)読書の魅力 (担当教員1) 文字表現を通じた笑いの世界に触れ、読書の新しい魅力に触れる。 | | | | | | | | | | |
| 第8回 | テーマ：プレゼンテーションの実践(2)本の魅力の伝え方 (担当教員1) これまでの演習を通じて感じた本の魅力を他者に効果的に伝える演習。 | | | | | | | | | | |
| 第9回 | テーマ：社会問題に関する文章の読み方 (担当教員2) 最近の社会問題に関する文章を読み、その要点を要約し、疑問点を共有する。 | | | | | | | | | | |
| 第10回 | テーマ：文章へのツッコみ方(1)論理的・批判的思考の意義 (担当教員2) 論理的・批判的思考の意義、主なツッコみ方について学ぶ。 | | | | | | | | | | |
| 第11回 | テーマ：文章へのツッコみ方(2)実際にツッコんでみる (担当教員2) 文章のツッコめる部分とその理由についてグループで発表し、そのツッコミについてグループ間で相互評価する。 | | | | | | | | | | |
| 第12回 | テーマ：ディバートの準備 (担当教員2) ・議論することの意義について学ぶ。 ・ディバートのルール説明を行い、次回行うディバートの役割分担を決定し、テーマを発表する。 | | | | | | | | | | |
| 第13回 | テーマ：ディバート(1)テーマその1 (担当教員2) ・前回発表したテーマについてディバートを行う (1回目)。 ・次回行うディバートの役割分担を決定し、テーマを発表する。 | | | | | | | | | | |
| 第14回 | テーマ：ディバート(2)テーマその2 (担当教員2) 前回発表したテーマについてディバートを行う (2回目)。 | | | | | | | | | | |

| | |
|-----------------------------------|--|
| 第 15 回 | テーマ：初年次セミナーⅡ のまとめ（担当全教員） 初年次セミナーⅠ, Ⅱ を通じた振り返りを行う。 |
| テキスト | 特に定めない。 |
| 参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介 | テーマに即した文献・資料について、担当各教員より紹介する。 |
| 課題に対するフィードバックの方法 | 担当教員によって多少異なるので、不明な点があれば、各担当教員に問い合わせること。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | 初年次セミナーⅠ で学習した知識や技能は、初年次セミナーⅡ でも活用するので、確実に会得しておくこと。 授業で関心のあったテーマについては、積極的に図書館やインターネットを利用するなどして知識を深めることを勧める。 グループ学習の利点を活かしながら、各自の積極的な参加を期待している。 |